

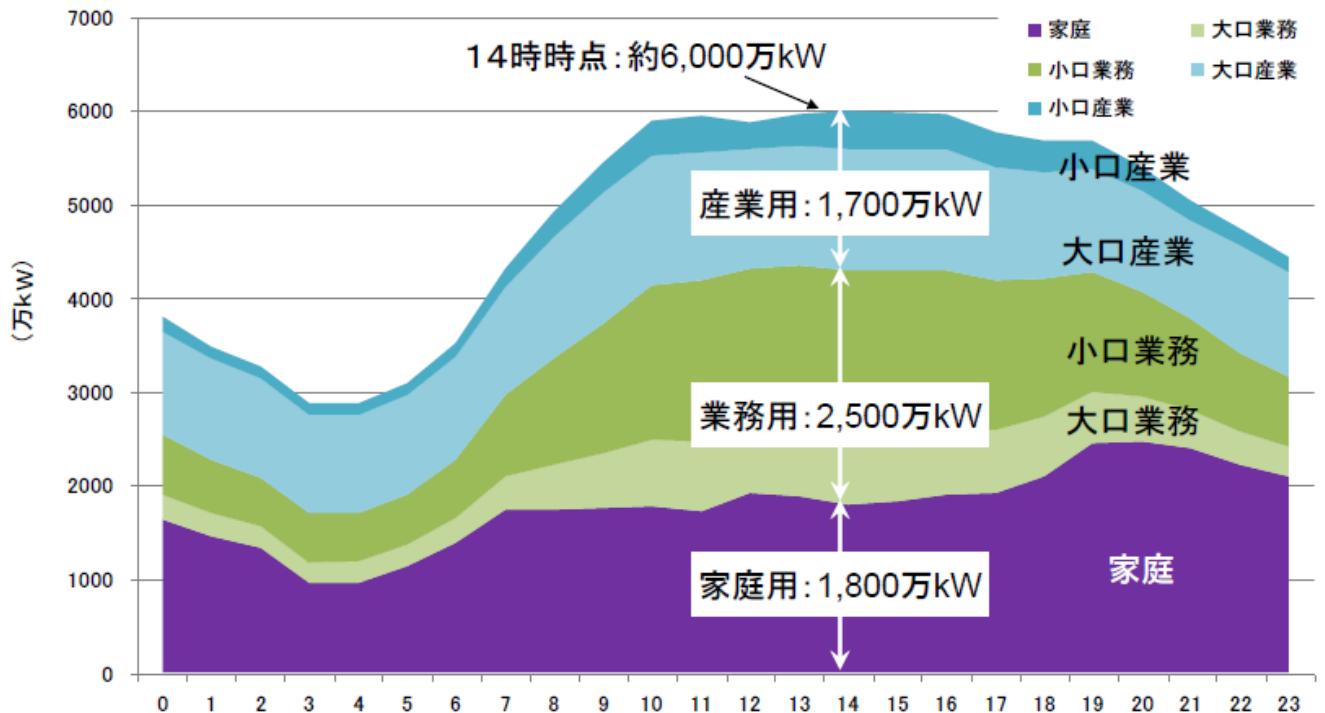
ピークカットの取組事例～オフィス編～

夏はエネルギーの需要が増大する季節です。このため、県では、の節電等の取組が一層進むよう、事業所において実践していただく具体的な「取組事例集」を作成しました。

! エアコンの控え過ぎによる熱中症などに気をつけて、無理のない範囲で節電しましょう。

夏期の電力需要

特に7～9月の平日は冷房需要が増え、1日の中では14時頃に家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなります。



出典：夏期最大電力使用日の需要構造推計（東京電力管内）
平成23年5月 資源エネルギー庁

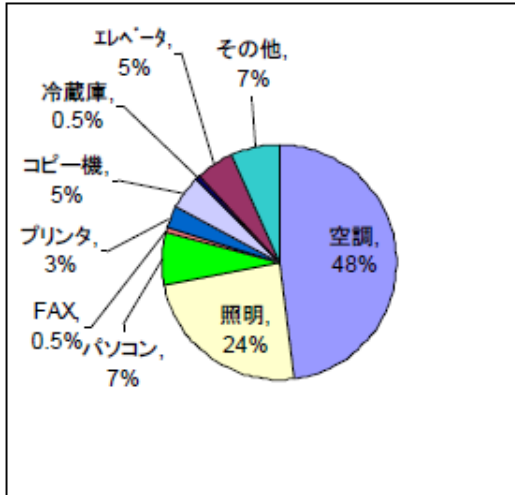
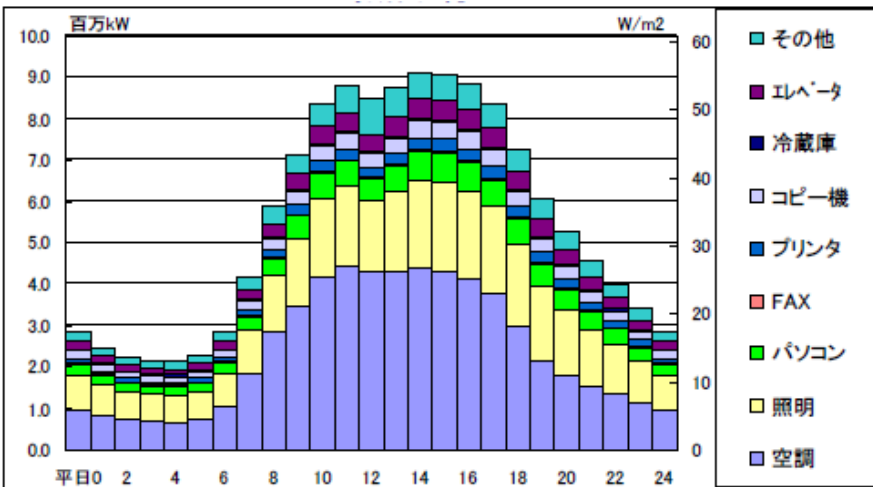
事業所における節電の基礎知識

《事業所における消費電力傾向の把握》

- 事業所における電力消費のうち、**照明、空調用電力、OA機器（パソコン、プリンタ等）**で**電力消費の88%**となっています。
- 各事業所において、自らの電力消費の傾向（どの時間帯に、**こういった機器が使われているか、どの程度電力を消費しているか**等）を正確に把握することが、ピークカット対策では重要となります。

【時間帯別電力需要】

【14時断面の電力需要構成】



出典：夏期最大電力使用日の需要構造推計（東京電力管内）
平成23年5月 資源エネルギー庁

●使用機器チェックリスト

使用機器		出力(kW)	台数	合計出力
照明				
冷房機器				
OA機器	パソコン			
	プリンター			
	コピー機			
その他				
合計				

契約電力(kW)	
----------	--

ピークカットメニュー（正午～17時）の節電効果（オフィスビル）

5つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・執務エリアの照明を半分程度間引きする。	13%	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリア（会議室、廊下等）は消灯を徹底する。	3%	<input type="checkbox"/>
空調	・執務室の室内温度を28℃とする（または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる）。	4% (+2℃の場合)	<input type="checkbox"/>
	・使用していないエリアは空調を停止する。	2%	<input type="checkbox"/>
OA機器	・長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%	<input type="checkbox"/>

さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください			
空調	・室内のCO2濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する（外気導入による負荷を減らすため）。	5%	<input type="checkbox"/>
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	3%	<input type="checkbox"/>
	・冷凍機の冷水出口温度を高め設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減する（セントラル式空調の場合）。	2%	<input type="checkbox"/>

メンテナンスや日々の節電努力もお願いします			
照明	・昼休みなどは完全消灯を心掛ける。		<input type="checkbox"/>
	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。 (従来型蛍光灯からHf蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		<input type="checkbox"/>
空調	・フィルターを定期的に清掃する（2週間に一度程度が目安）。		<input type="checkbox"/>
	・電気室、サーバー室の空調設定温度が低すぎないかを確認し、見直す。		<input type="checkbox"/>
	・室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける。		<input type="checkbox"/>
コンセント動力	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		<input type="checkbox"/>
	・自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。		<input type="checkbox"/>
その他	・デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		<input type="checkbox"/>
	・コージェネレーション設備を所有している場合は、発電優先で運転する。		<input type="checkbox"/>
	・需給調整契約（料金インセンティブ）に基づくピーク調整、自家発電機の活用、操業シフト等。		<input type="checkbox"/>

従業員やテナントへの節電の啓発も重要です			
節電啓発	・ビル全体の節電目標と具体的アクションについて、関係全部門・テナントへ理解と協力を求める。		<input type="checkbox"/>
	・節電担当者を決め、責任者（ビルオーナー・部門長）と関係全部門・テナントが出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。		<input type="checkbox"/>
	・従業員やテナントに対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		<input type="checkbox"/>

合 計	%
------------	----------

- ※ご注意
- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
 - ・空調については電気式空調を想定しています。
 - ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
 - ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。

事業所での取組事例

今夏の節電のために、**事業所で実践できる取組事例**をまとめました。各事業所での取組の参考にしてください。

A社の場合

<概要>社員30名、5階建てオフィスビルに入居

ピークカット事例



- クールビズで空調温度を28℃にしています
- 近い階にはエレベーターではなく、歩いて移動しています
- 会議室など普段使わない部屋は徹底して消灯しています
- 廊下や階段などは半分程度消灯しています
- 全社員のパソコンを省エネモードに設定しています
- 執務室内のプリンターの半分以上を電源オフにしています
- 電気ポットやコーヒーマーカーなどは電源をオフにしています



B社の場合

<概要>社員100名、自社ビルに入居

ピークカット事例



- 緑のカーテンを設置して空調温度を28℃にしています
- エレベーターの一部を間引き運転しています
- 電気給湯器などは朝9時までしか使いません
- 廊下や階段などは半分程度消灯しています
- 窓ガラスに遮熱フィルムを貼っています
- 自動販売機の冷却停止時間を延長しています

